

授業科目 基礎作業学実習Ⅱ

【担当教員名】 濱口 豊太、岩崎テル子、矢谷 令子、	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

作業療法士は、医学的ならびに社会心理学的視点からヒトの作業機能を理解し、障害を持つ人々に対して、作業活動を治療ならびに生活援助に適用していく。基礎作業学実習では、ヒトが作業活動を行う際に必要とする、感覚・知覚・運動機能、心理・神経系機能、さらには社会心理学的な視点を理解し、作業活動の基本的知識とその実践について修得する。

<行動目標：S B O>

1. 各作業活動の工程を説明あるいは記述することができる
2. 各作業活動に必要な用具（器具）・材料を列挙し、その特性や使用法を説明できる
3. 各作業活動の工程に必要な技法（技術）を体験する
4. 作業活動に必要な材料や道具を列挙できる
5. 材料・用具を手入れ・管理できる
6. 作業活動の全行程を経験し、作品を完成することができる
7. 作業活動の一例をあげ、必要となる感覚・知覚・運動機能、精神・心理機能について述べるができる
8. 作業活動において製作した作品を通して、人間が営む作業活動の社会的ならびに文化的な価値について説明することができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	レザークラフト (1)	1	実習・演習 (濱口・岩崎・矢谷)
2	レザークラフト (2)	～	
3	レザークラフト (3)	9	
4	ミサンガ、ラフィア (1)		
5	ミサンガ、ラフィア (2)		
6	ミサンガ、ラフィア (3)		
7	ミサンガ、ラフィア (4)		
8	タイルモザイク (1)		
9	タイルモザイク (2)		
10	タイルモザイク (3)		
11	ペーパークラフト (1)		
12	ペーパークラフト (2)		
13	ペーパークラフト (3)		
14	ペーパークラフト (4)		
* グループに別れてそれぞれの作業活動を行う。			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	図画工作・美術用具用法事典	相田盛二	日本文教出版	2001（第2版）¥3,204
参考書	陶芸・やきものの作りの実際、図解・手織りのすべて、作業・その治療的応用 図でわかる電動工具			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席 30%、作品提出、40%、レポート40%	【履修上の留意点】 ・実習系授業のであるため、遅刻することなく出席してください。 ・提出物は期限を守り、所定の場所へ提出して下さい。 ・作品完成のために、授業時間以外を利用して学習することがあります。
-----------------------------------	---